

# 新製品紹介

## 細径漏洩同軸ケーブル

これまでの漏洩同軸ケーブル（LCX：Leaky Coaxial Cable）は、広いエリアで使用することを前提としており、伝送損失を小さくすることを優先しているため、ケーブルの外径は約 17 mm ~ 55 mm と太く、曲げ半径も大きくとる必要があった。

一方、最近の LCX に対する市場要求は、狭いエリアで無線環境を構築したり、ケーブルを目立たないように配線するために、細径かつ可とう性の優れたタイプを望む声が強く出始めている。

これらのニーズに対応するため、今回新たに狭いエリアで使用することを目的として、ケーブルの外径を約 7 mm に細径化した LCX を開発した。

この LCX は、中心導体に撚り線導体を使用し、絶縁体上に銅テープの間隙巻き + 横巻き編組を施した構造が大きな特徴となっている。これにより従来の LCX では得られなかった可とう性と細径化を実現した。

この LCX の用途は、オフィス内での無線 LAN 用アンテナ、あるいは工場や店舗での RFID 用アンテナとして、今後活用が期待される。

（ケーブル・機器開発センター 高野）

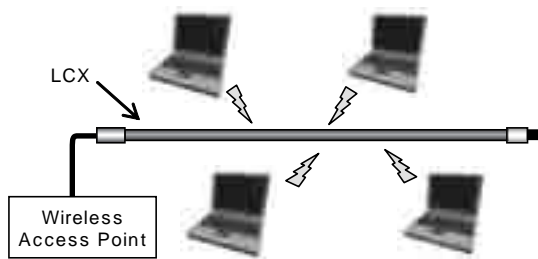


図 1 LCX 使用例



図 2 既存品との比較

表 代表特性値

項目	単位	代表値
中心導体外径	mm	2
絶縁体外径	mm	5
シース外径	mm	6.8
伝送損失 (2.4 GHz)	dB/m	1.3
結合損失 (2.4 GHz)	dB	68 <sup>*1)</sup>

\*1) LCXとダイポールアンテナ距離を1.5mとし、ケーブル長手方向における円周電界成分を測定したときの50%累積確率値を示す。

[お問い合わせ]

メタルケーブル事業部

TEL : 03-5606-1227 FAX : 03-5606-1549

E-mail : mc-info@fujikura.co.jp